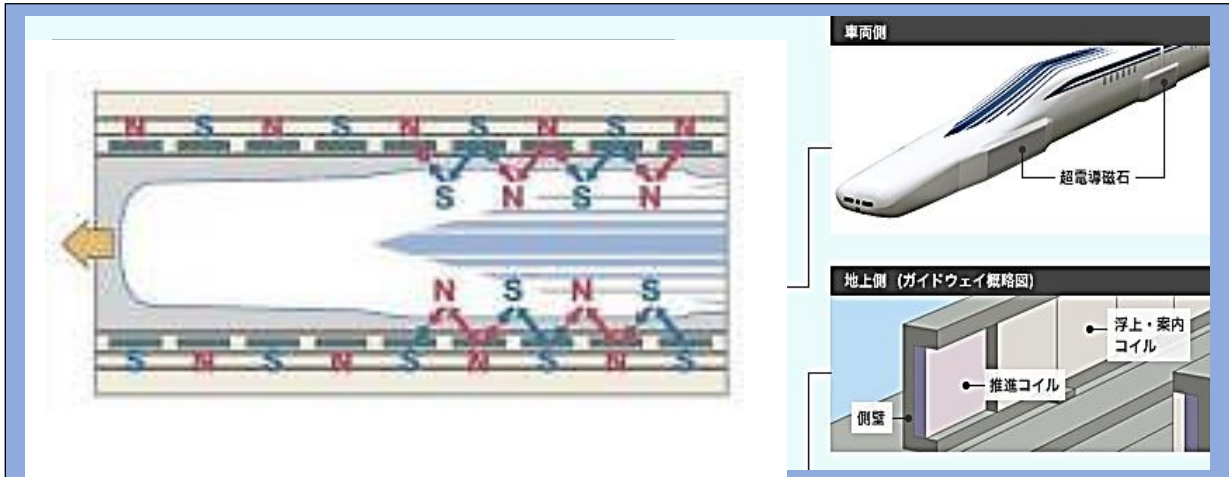


工学的見地から見た リニア新幹線問題



11月30日(金)

午後4時15分～5時45分

場所:衆議院第一議員会館

多目的ホール(1階)

リニア新幹線は研究着手から50年以上を経過、ようやくJR東海が品川・名古屋間の建設に取り掛かった。

その前途は明るい未来なのか。否である。

286キロの86%がトンネルという工事。膨大な残土を運ぶための処分場さがし、残土を運ぶため膨大な量の工事車両が走りまわる。

重い車両を持ち上げて500キロのもうスピードで走行するため、とてつもない電力量を浪費する。また事故の危険を防ぐ手立ては万全なのか。今回は工学的見地から見たリニア新幹線の安全性や経済的合理性をしてみる。

講演

山梨県立大学前学長

伊藤 洋 さん



1940年 山梨県生まれ。東北大学大学院電気および通信工学科修了。1978年 山梨大学教授。2009年 山梨県立大学学長就任。『えんびつで奥の細道』(ポプラ社)、『科学技術と人間』(山日新聞社)など著書多数。

主催: ストップ・リニア!訴訟原告団、リニア新幹線沿線住民ネットワーク